



1983（昭和58）年 矢野友宏さん所蔵

夕張駅

—時代とともに動いてきた駅—

2021年1月31日～当面の間

JR新夕張駅待合室（夕張市紅葉山）

始発から最終まで観覧可能 / 無料

あなたが思い浮かべる「夕張駅」はどんな姿ですか？巨大な選炭場を背景にした重厚な駅でしょうか。貨車をつなげた駅でしょうか。それとも、三角屋根の小さな駅でしょうか。

時代とまちの変遷とともに2回の移転を経験した夕張駅も、2019年、夕張支線とともに126年の歴史を閉じました。しかし、夕張駅とともに開業した紅葉山駅は新夕張駅と名前を変えた今も大動脈の一部として活躍中。もしかしたら新夕張駅は、これからの夕張のヒト・モノの結節点としての役割を担う、“心の4代目夕張駅”なのかもしれません。

今回の展覧会は、「みんなでつくる夕張の記憶ミュージアム」に寄せられた、アルバムにしまっておいた“普通の写真”がメインです。あなたのアルバムの中にもあれば、ぜひ教えて下さい。

—夕張は、まだまだ鉄道とともに生きています—